



2025年春闘中央討論集会 86名参加 分散会・分科会・全体討論を実施

11月23日（祝・土）～24日（日）の日程で、2025年春闘中央討論集会を静岡県伊豆の国市のホテルサンバレー伊豆長岡にて開催しました。27県本部から86名が参加しました。足立浩中央執行委員長はあいさつの中で、「物価高騰に伴う生活困難の中で、先の総選挙でも示された様に賃上げへの関心が高まっている。労働者の生活が苦しくなっている現状は、経営者も否定できず。先の春闘での前進につながっている。



主催者あいさつをする足立委員長 11月23日



黒澤幸一全労連事務長の講演の様子

その前進も要求を出すことによって勝ちとれたものだ。労働組合として要求を出すことが最大の眼目。誰もが理解し、分かりやすい要求を出すことが大事だ」と全参加者に呼びかけをしました。

廣瀬書記長が2025年春闘方針第一次案及び統一要求基準案の提案をおこないました。また、黒澤幸一全労連事務局長を招いた学習会では「2025年春闘を如何に闘うか」とのテーマで学びました。その後、3つ

の分散会と2分科会（ダンプ、労職）に分かれ、各職場の実態や春闘に向けた構え、要求アンケートの集約及び組織拡大の推進状況などを交流しました。

翌日は分散会・文科会の報告と全体討論（発言7名）を行ないました。

最後に森谷副委員長の発声により団結がんばろうで集会を終わりました。（詳細は25年1月参照）



25春闘で大幅賃上げを実現しよう